



1 はじめに

昨今、新聞やテレビで、海外勤務や留学を望まない「内向き志向」の若者が増えていると見聞きします。しかし、グローバル社会が進展する中で、もはや世界の国々と関わりを持たずには生きられない時代となっています。

こうしたなか、富山県は中国・大連において、グローバルな視点で活躍できる人材を育成するため、平成24年度から大連YKKジッパー社（大連吉田拉鏈有限公司）と共同で、「ギャップ・チャレンジング・プログラム - 富山県学生大連企業実務研修」を実施しています。これまでに2度（2013年2月、8月）開催され、県内高等教育機関（大学、短大、高等専門学校）から計19名の学生が参加しました。今回は、その取り組みについてご紹介します。

2 研修プログラムの趣旨

この研修に参加する学生は、大連YKKジッパー社の従業員寮に約2週間滞在し、①同社をはじめ中国の第一線で活躍する日系企業等の訪問、②現地経営者等による講演、③中国人大学生との交流等の活動に参加します。

「ギャップ・チャレンジング・プログラム」の「ギャップ（差）」とは、単に日中両国の文化や習慣の違いを指すものではなく、海外の第一線で活躍する経営者の方々による講演や現地中国人大学生との交流を通して、学生たちが気づく、将来目指すべき「理想の自分」と「現在の自分」とのギャップ（差）を指します。この研修は、学生たちがこのギャップに気づき、帰国後、それを埋めるために努力・挑戦することを目指して実施しているのです。

3 参加資格・費用、生活環境等

この研修には、富山県内の高等教育機関の学生であれば、原則、誰でも参加できます。語学研修ではないので、中国語の能力は特に求められません。また、研修期間中は、日本語が話せる大連YKKジッパー社の現地従業員がチューターとして学生の生活をサポートするため、学生は安心して研修に参加することができます。

参加費用については、大連YKKジッパー社のご厚意により、従業員寮を無償で提供していただけるため、学生の負担は渡航費（航空券、ビザ取得費用、海外旅行保険等）約10万円のほか、食費、視察費用等の実費のみと比較的少ない費用で参加できます（富山空港利用助成制度により、1人当たり5千円を別途助成）。なお、従業員寮は数年前に改築されたばかりで、4人1部屋ですが、食堂（複数の業者が出店、日本食もある）、売店（市価よりも安く品ぞろえも豊富）、共同のシャワー室・洗濯室、娯楽施設（卓球台、ビリヤード台）、インターネット環境等が整備されており、快適に過ごすことができます。

4 研修日程及び内容

第2回（2013年8月）の研修内容について、以下、簡単にご紹介します。

- (1) 大連YKKジッパー社での研修
 - ・同社の企業理念、事業概要等の説明、ファスナーの製造現場の見学

「ギャップ・チャレンジング・プログラム

— 富山県学生大連企業実務研修」の取り組みについて

●富山県大連事務所 所長 油本 達義

- ・日本人の若手社員や管理職、中国人社員の方との交流－海外で働くことや仕事に対する考え方を知る。
 - ・ファスナー工場現場勤務－チームに分かれ、スライダー（ファスナーの引き手）通し作業に従事。どのようにすれば生産性を上げられるかを競うことで、単純作業を続けることの大変さと生産性を上げるために不可欠なチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション、創意工夫等の大切さを学ぶ。
- (2) 日系企業等の経営者らによる講演
- 【ご講演いただいた企業（敬称略、順不同）】
- 東方ホテル、日本航空大連支店、泰克現代教育（大連）有限公司（TAC）、JTB大連、ウェネバー大連（現地情報誌）、トナミ物流（大連）有限公司（トナミHD）、北陸銀行大連駐在員事務所
- ・県内企業を含む日系企業を中心に、最前線で活躍する経営者、駐在員等から、自社の中国ビジネスの現状、苦勞、経験談等について講演いただいた。
 - ・このうち、中国物流市場開拓の最前線で活躍するトナミ物流（大連）の岡崎総経理からは、グローバル社会で苦戦している日本企業に対する所見や若者へのメッセージを熱く語っていただいた。
 - ・日本での留学・ホテル勤務を経て、中国のホテルで日本式サービスを推進されている東方ホテルの周全営業マネージャー（女性）からは、日中の文化の違い、コミュニケーションの大切さ、中国人スタッフに日本式サービスを浸透させるための苦勞話、年上・年下の部下（男女別）に対する指導方法の工夫等について、自らの経験を元に分かりやすくお話いただいた。
- (3) 企業訪問
- 【視察訪問にご協力いただいた企業（敬称略、順不同）】
- 三菱電機大連機器有限公司、大連吉田建材有限公司（大連 YKKAP 社）、大連ソフトウェアパーク、軟銀芑思（大連）科技有限公司（ソフトバンクグループ）、大連三島食品有限公司、愛麗思（中国）集団（アイリスオーヤマ）
- ・機械、樹脂サッシ、業務用日本食品、日用雑貨等の製造現場の視察のほか、中国進出の経緯、品質管理の取組み、経営の課題等について伺った。
 - ・軟銀芑思（大連）科技有限公司は、日本国内のソフトバンクショップのバックオフィス業務（日本語でのデータ入力や確認・コールセンター業務）を行っており、徹底した情報セキュリティ管理の下で、優秀な日本語人材がリアルタイムで実施するBPOサービスの現場を視察させていただいた。学生からは、「中国人社員の作業スピードの速さやセキュリティ管理の厳しさに驚いた」との声が聞かれた。
- (4) 大連外国語大学訪問及びホームステイ
- ・大連外国語大学を訪問し、授業の様子やキャンパスを見学したほか、同大学の協力により、日本語を専攻する学生の家庭でのホームステイを行った。
 - ・同世代の中国大学生が、日本語を習得するために熱心に勉強している姿、多少の間違ひはあっても必死に日本語で自分の意見を伝えようとする姿等、彼らの積極性、向上心、学習意欲の高さに学生らは刺激を受けていた。また、研修に参加する前に持っていた中国や中国人に対するネガティブなイメージががらりと変わったという声が多く聞かれた。
- (5) 旅順、丹東の視察
- ・旅順では、二〇三高地をはじめ日露戦争ゆかりの地を訪れ日本の近代史に触れた。
 - ・北朝鮮との国境の街・丹東では、国境を流れる鴨緑江に架かる断橋（朝鮮戦争で米軍が破壊）や抗美援朝記念館を訪問し、中国側から見た朝鮮戦争史観に触れる貴重な機会となった。
 - ・鴨緑江の観光船から、殺風景な北朝鮮側と高層ビルが建ち並ぶ中国側の対照的な風景を目にして、参加学生は、普段意識することのない国境や北朝鮮について深く考える良い機会となった。

【参考：第2回研修の日程】

8/20(火)	富山→上海→大連（※当時、富山-大連便が運休していたため）
8/21(水)	オリエンテーション、大連 YKK ジッパー社企業説明、ファスナー工場見学、チューターとの交流会
8/22(木)	東方ホテル講演、三菱電機訪問、YKK AP 訪問、YKK 日本人駐在員との交流会
8/23(金)	大連ソフトウェアパーク訪問、軟銀苳思（大連）科技有限公司訪問
8/24(土)、 25(日)	大連外国語大学の日本語専攻学生の家庭にてホームステイ
8/26(月)	JAL 講演、ファスナー工場現場勤務（半日）
8/27(火)	TAC 講演、JTB 講演、三島食品訪問、工場現場勤務総括会

8/28(水)	大連外国語大学訪問（キャンパス見学、授業体験）、旅順歴史観光
8/29(木)	大連 YKK ジッパー社現地社員との座談会、現地情報誌「ウェネバー大連」講演、アイリスオーヤマ訪問
8/30(金)	トナミ物流講演、北陸銀行講演、亜細亜大学夢カレッジプログラム 10 周年特別講演会聴講
8/31(土)	丹東視察
9/1(日)	開発区視察、感謝の集い
9/2(月)	研修発表会、総括会、上海へ移動
9/3(火)	上海→富山

(企業名等敬称略)



大連 Y K K ジッパー社佐々木総経理による講演



丹東視察（断橋から臨む北朝鮮国境）

5 終わりに

約2週間、学生にとってはかなりきついスケジュールでしたが、参加した学生からは、日本では決してできない貴重な経験を通じて成長できたという感想が多く聞かれました。実際に、当初は講演を聴いてもほとんど発言できなかった学生が、研修後半には積極的に質問し、自分の考えを発表できるようになる等見違えるほど成長していました。

参加した学生は、それぞれ自分が目指すべき目標＝「理想の自分」を見つけ、「現在の自分」とのギャップ（差）を認識し、今後、何をすべきかを自覚して意気揚々と富山へ帰っていきました。

研修にご協力いただいた大連YKKジッパー社の佐々木総経理をはじめ、すべての関係する皆様に対し、心より感謝申し上げます。

なお、平成26年度の研修は、8月下旬～9月上旬の日程での開催を予定しており、間もなく富山県から県内高等教育機関へ募集要項が配布されます。一人でも多くの学生がこの研修に挑戦してくれることを心から期待しています。

※当研修プログラムのこれまでの実績、募集要項等については、富山県文書学術課のホームページに掲載されています。

富山県文書学術課ホームページアドレス

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1103/



第2回研修参加学生記念写真